

栽培技術や品質の向上、消費拡大に向け

『イチゴの品評会』開きます！

【2月15日（火）／JAあいち中央総合センター内生活館にて】

JAあいち中央いちご部会（部会長：富田隆義）は2月15日に、安城市赤松町のJA総合センターで、「イチゴの品評会」を開きます。今年度は16点の出品を見込んでおり、14人の部会員が最高賞である安城市長賞を目指します。同部会では「紅ほっぺ」と「ゆめのか」の2品種を栽培しており、部会員が4パック詰め段ボール箱に入れて出品します。

品評会は、栽培技術や品質の向上、ブランド化を推進して消費拡大することを目的に、毎年この時期に開いています。愛知県西三河農林水産事務所農業改良普及課や安城市、JAあいち経済連、市場など、イチゴの生産や流通の関係者が玉ぞろいなどの外観、肉質、食味、糖度などを審査します。

今作は夏の高温や8月の長雨で苗づくりが難しい年でしたが、12月以降は天候に恵まれ、出荷量は例年並み。糖度や酸味のバランスも良く品質は良好です。

出品されたイチゴの一部は、品評会後に安城市社会福祉協議会を通じて、市内の福祉施設に寄付する予定です。



イチゴの外観を確認する審査員ら



先回出品された艶やかな紅色のイチゴ

JAあいち中央いちご部会

部会員：14人
栽培面積：約2.2ヘクタール
出荷時期：11月下旬～5月下旬
最盛期：12月中下旬
総出荷量：約74トン（約29万パック）予定
流通先：中京市場を通じ、大手量販店で販売

イチゴの品評会

■日時：2022年2月15日（火）／午前10時30分～（概ね1時間半）

■場所：JAあいち中央総合センター3階研修室
（安城市赤松町浄善50）

※当日は、審査の様子を撮影いただけます。審査結果の発表は正午頃になります。
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況で、開催を見合わせる場合がございますので、取材にお越しいただく際には必ず事前にご一報ください。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。
JAあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、杉浦、山村）
TEL：0566-73-5504／携帯：080-3667-3485／E-mail：kouhou@jaac.or.jp